

社会貢献・地域貢献について

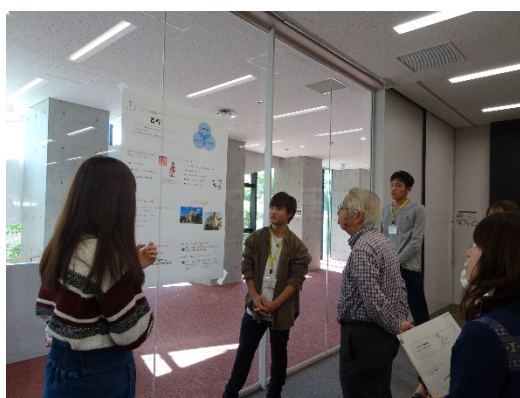
1. 東区地域連携プロジェクト

基礎演習Ⅱ 2016年度～2018年度 (二神・村田・津村・西尾ゼミ)

2016年9月より、基礎演習Ⅱの授業において、二神・村田・津村・西尾の4ゼミ合同で、周辺商業施設や地域コミュニティなどを一つの学びの場と位置付けた研究・教育活動に積極的に取り組んでいる。ナゴヤドーム前キャンパスが位置する東区には、名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」と呼ばれるエリアがあり、名古屋の近代化を伝える歴史的・文化的に由緒ある建造物が集積している。しかしながら、東区では、この歴史的・文化的に価値ある「文化のみち」を多くの人を訪れる魅力ある場所として保全活動に携わっているが、若者や外国人への広報が不十分であるという課題を抱えている。そこで、「学生から見た外国人に伝えたい地域の魅力」、「外国人や若者を誘致する」などをテーマとして、フィールドワークを行い、地域プロジェクト型学習(PBL)に取り組んでいる。2018年度では実際英語での動画やパンフレット、発信型HPなどを作成している。



名古屋城・文化のみち、徳川園へのフィールドワーク



ポスター発表会

2. キャンパス開催国際イベントでの外国人対応プロジェクト

基礎演習Ⅱ 2016年度 (柳沢ゼミ)

2016年11月30日から12月2日にかけて行われたブレイクダンスの国際大会(Red Bull BC-ONE: NAGOYA WORLD FINAL)において、柳沢ゼミでは、関連イベント開催地になったドーム前キャンパスの国際化を図る取り組みを行った。「キャンパス掲示班」、「おもてなし掲示班」、「MU ガーデン班」の3班に別れ、各班が世界中から来る外国人参加者を迎えるための企画を大学側にプレゼンし、それらを実施した。結果、大学側からは高評価を得たが、何より学生たちはこの取り組みを通して、プレゼンで伝えたアイデアやイメージを実際に実現することの難しさや達成感などを経験できた。



英語案内制作



制作物の前での学生たち

3. 知立団地プロジェクト

基礎演習Ⅳ 2018年度 (津村ゼミ)

2018年9月より「基礎演習Ⅳ」の授業のなかで、知立市福祉課との連携のもとで、知立団地での活動を開始した。市福祉課からゲストスピーカーをお迎えして、知立団地とその周辺地区の現状を紹介してもらったのち、10月7日にゼミ学生16名が参加し、現地にてフィールドワークを行った。住民の6割が外国人住民という知立団地では、日本人住民と外国人住民の間での生活感覚のズレや、周辺地域からのネガティブなイメージなど、いくつかの問題が見られる。そうした問題について、学生が考えたことを1～3分程度の動画にまとめる課題を実施し、プレゼンテーションには市福祉課の職員にも参加してもらった。制作した動画は、福祉課のみならず市長や市役所職員にも好評いただいたほか、2019年1月には知立団地住民でも見てもらえる予定である。今後の市や団地での住民活動の広報にも活用いただけることとなった。



知立市福祉課職員の方からのレクチャー



知立団地でのフィールドワーク

4. 国際協力プロジェクト

基礎演習Ⅱ 2016年～2018年度 (クマラゼミ)

クマラ基礎演習・ゼミナールでは、国際的機関との連携のもと、国際協力についての知識を深めるほか、大学内で公開的講座の開講、直接現場を訪問などの活動を行っている。学部設立初年度である2016年度では、学生たちは二日間にわたる国際連合地域開発センターの設立45周年記念イベントの運営スタッフとして参加した。2017年度では、JICA中部国際センターと連携を図り、JICA中部国際センターを訪問や、大学内で公開講演会(ワークショップ形式を含む)を実施した。タイトルは「JICA ボランティアセミナー ～自分と世界と向き合おう～」であり、JICA 中部から講師として派遣された浅井恵美子様やタンザニアで青年海外協力隊として活動されていた後藤洋美様を講師にお迎えして体験談を話していただき、グループワークを行った。そして、国際連合地域開発センターとの連携による事業として「あなたと世界を変える17の目標(SDGs)」のセミナーを開催し、FSPでの学びを活かし、国連から派遣された職員とともに学生たち自らが発表者となったり、そして自らがファシリテーターとなりグループワークなども実施した。企画の提案やJICA・国連センターとの打ち合わせ、当日の流れ、各自の役割などすべてが学生たち中心に行ったことは特徴のひとつである。学生たちはこのように、FSP 事業での学びがアクティブに学ぶことや他者へ伝えることなどにも活かしている。

JICAとは? **国際協力とは?**

JICA
ボランティアセミナー
～自分と、世界と、向き合おう～

JOCVとは?

実施日: 7/6 (木)
時間: ・第一部 13:10～14:40
・第二部 14:50～15:10
場所: ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階レセプションホール
※参加申し込み不要
主催: 外国語学部クマラ基礎演習Ⅱ生
共催: JICA中部国際センター
協力: 名城大学社会連携センター
問い合わせ先: 名城大学社会連携センター
shake@ccml.meijo-u.ac.jp

名城大学外国語学部 国際連合 国連セミナー
クマラゼミナール 国連センター

あなたと世界を変える17の目標(SDGs)

当日参加可能 (社会グローバルや国際協力に関心がある人) JICAの研修、グループワークやセッションを通じて国際社会のよう

一般参加可能 参加費無料
6月21日(木)
13:10～16:20(途中入出可) DW207(レセプションホール)

参加したい方は人数を把握したいので、右のQRコード、又は下記のメールアドレスからメールの送信をお願いします。
shake@ccml.meijo-u.ac.jp

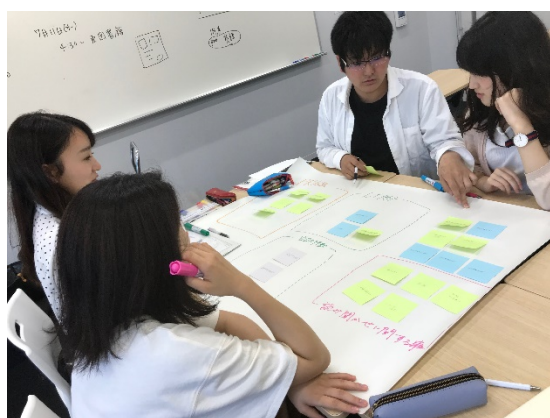


ポスター制作・セミナー実施学生たち

5. 英語絵本読み聞かせプロジェクト

ゼミナールⅠ・Ⅱ 2018年度 (西尾ゼミ)

西尾ゼミでは、音声と文字の修得など言語習得のメカニズムを探るという研究を行っている。名古屋市立東図書館から、「夏休みに行う子供たちのイベント」の課題を受け、8月27日に小学生を対象に「英語絵本の読み聞かせプロジェクト」を行った。ゼミ生12名が3グループに分かれ、「絵本読み聞かせ」、「広報」、「ゲーム」とそれぞれがプログラム運営に取り組んだ。小学生の低学年用、高学年用2種類の絵本を用意し、また子供たちの英語理解度を考慮し、英語だけでなく日本語も適時使う CLIL (Content and Language Integrated Learning、内容言語統合型学習) という手法を使い、読み聞かせを行った。言語習得を促すため、関連のゲームを行った。実施後に子供たちのアンケートを行った結果、非常に楽しく英語に親しめ、英語が理解できたとの評価を得た。また、紀伊國屋プライムツリー赤池店においても、10月28日に同様のイベントを3回行った。今回は想定していた小学生より小さい乳幼児や幼稚園児の参加が多かったため、急きょ学生たちの判断で、低学年用の絵本を2冊読み聞かせに使うこととした。参加者アンケートから、英語絵本が楽しくて興味を持ったとの高評価であった。このように、問題や課題を受け、グループで様々な課題を想定し、英語絵本プロジェクトを行い、アンケートから自分たちの活動の効果を検証するという過程から、多くの学びがあった。両活動は次年度も継続的に行う予定である。



KJ法を使いブレインストーミング



東図書館での絵本読み聞かせ会



紀伊國屋での絵本読み聞かせ会